施策コード 施策名	事務事業評価シート(事後評価)											
勝度 日 開度 名 日本	事業コード		事務事業名						所管部課			
新82-2 子育て支援の促進 子ざを安少して高み、健やかに育てられる環境づいき造めます。	6-2-1		心身障	害児通所訓	練(ひよっこ)			子育て支援部 保育課			
事務事業の目的	施策	────────────────────────────────────										
事務事業の目的		合しつつ	マ 空 ア・	古怪の伊油			スピュた空心して	きュ 使やかに夸てに	カス理培づ/川太准め=	⊨ 1		
演響を持っている乳幼児を、併設されている市立保育圏の入所児童と一緒に保育する中で、児童の持っている 法律 法律 法律 法令 法令 法令 法令 法令		周2-2 丁月(又抜り促進					子ともを安心して産み、健やかに育てられる環境つくりを進めます。 					
演響を持っている乳幼児を、併設されている市立保育圏の入所児童と一緒に保育する中で、児童の持っている 法律 法律 法律 法令 法令 法令 法令 法令		重殺重業(カ目的							根拠法今等		
開きを行うている。別が28、 特社なイに16 内立以26 で 対立している。												
■ 漢を保服の 社会的自立を支援する。 ■ 漢人容を別し立て支援する。 ■ 漢人容を別し立て支援する。 ■ 漢人名を別し立て支援する。 ■ 漢人名・実施方法を / 補助の 展集: 補助団体の概要 団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等 / 補助金の概要 (国・都 基準の 4												
野東大学 実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要: 団体を: 団体の活動内容・補助金の活用内容等・補助金の概要(目・部業権の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助館・市単独補助館)等 装当する予算率名・個目を明記する の	車					協力し台	い、保育・訓練・生活	古指導を行うことで陸	i害の軽減と心身の発	。 □ 政令·省令		
# 業内容 実施方法号 / 補助の概要 補助回体の概要 (団体名・団体の活動内容 補助金の括用内容等),補助金の概要 (国 整 基準の有無・力致者 拡入の有無・力乗 地域の		圧で扱助し										
業 基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助限・市生独植助館)等 該当する子事事業名・節目を特別する 別見日・金田〇中市 助政の分・年後9時に、夏引1名により、40月間末少を対象に保育・訓練等を実施している。 訓練等・選字部法・月4回)・吉陽部法(月4回)・吉陽部法(月3回)・東陸の検診・限月 ・ 保護者負担に無すてあるが、給食費についてはと費負担となっている。 ・ 事業開始時期 昭和57 年度 実施が整 図 18年度 20年度 21年度 事業開始時期 昭和57 年度 実施が整 図 18年度 19年度 20年度 21年度 事業費(A) 9,511 9,528 8,709 7,807 (8,07) (7,807 (8,07) (1,0			事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都									
翻載等・理字構法 (月-10)、言語解法 (月-10)、青門底の検診 (周月) 接合係官 ひよって在原理 整体 (別 の	業	基準の有無	無·対象者	が	無・上乗せ补	甫助額·↑	5単独補助額)等	該当する予算事	業名・節目を明記する	5		
要 接合保育 ひよっ 在祖児童が終身する歳の保育園のクラスに入り、保育園人園児童と一緒に保育を受ける (報道も製出無料であるが、総食費については変費負担なっている)、								Pを対象に保育・訓練	等を実施している。			
「保護者負担は無料であるが、給食費については実養負担となっている。								育園入園児童と一緒に	に保育を受ける			
予解科目・民士費・児童福祉費・保育園費・心身障産児通所制練事業とよっ 事業開始時期 昭和57 年度 実施形態 図直登 委託 埔町 〒40他)	女	·保護者負	担は無料で	であるが、給゛	食費について	ては実費負	負担となっている。					
事業開始時期 昭和57 年度 実施形態 図査管 受託 福助 〒40他 ()) 事業費(A)								-				
項目 単位 18年度 19年度 20年度 21年度 第業費(A) 9.511 9.628 8.709 7.807 7.8									72044 ()		
事業費(A) 9.511 9.628 8.709 7.807 7		于未问	[[[]	нцино	+ 大人	大ルルバン		」安式 □ 開助 L	」 ての他 (J		
調車支出金・都支出金 7.792 7.104 7.792 7.104 7.792 7.104			項			単位	18年度	19年度	20年度	21年度		
野		事業費(A)					9,511	9,628	8,709	7,807		
野川子の他 (実費負担分)		1 1 1 1 1 1 1 1 1	出金·都	支出金			8,509	8,509	9,540	9,370		
三般財源	_	源 地方債	源:地方債			千円						
三般財源	事	内その他	(実費負	担分)		580	580	513	580		
所要人員(B)		=大}					422	539	-1,344	-2,143		
大件費(C)=平均給与×(B)		<u> </u>				人	3.20	3.20	3.50	3.20		
臨時職員等資金(C)	I			与 x (B)			26.115	26.461	28.578	26.128		
総コスト(D)=(A)+(C)+(C') 千円 43.790 43.881 45.473 42.528 単位当たりコスト (E)=(D)/ (延べ利用人数) 千円 22 23 24 #DIV/0!	タ	* , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					•	•				
単位当たりコスト							•	•	·			
E =(D) (延べ利用人数) 千円 22 23 24 #DIV/0! 活動等指標 単位 18年度 19年度 20年度 21年度 開所日数 実績値 日 245 245 244 242 定員 実績値 人 111 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		,	, , , , ,)+(0)		111	43,790	43,001	45,475	42,320		
活動等指標 単位 18年度 19年度 20年度 21年度 開所日数 実績値 日 245 245 244 242 定員 実績値 人 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1							22	22	24	#DIV / (0)		
開所日数 実績値 日 245 245 244 242		(E)=(D)/	(進八利用人	(数)	TD	22	23	24	#01070!		
定員 実績値 人 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1			活動	的等指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度		
評価		開所日刻	汝		実績値	日	245	245	244	242		
# 年間の開所日数 施設定員		定員			実績値	人	11	11	11	11		
 施設定員 成果指標 単位 18年度 19年度 20年度 21年度 21年度 20年度 21年度 21年度 20年度 21年度 20年度 21年度 20年度 21年度 21年度 21年度 220年度 21年度 21年度 21年度 220年度 21年度 220年度 21年度 220年度 21年度 220年度 21年度 21年度 220年度 21年度 220年度 21年度 220年度 21年度 220年度 21年度 220年度 220年度 231年度 24日度 24日度 24日度 25日度 20日度 20日					など)							
おけられる 日標値 人 日標値 人 上 日標値 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日	評価											
根					3773							
一次 正式利用人数 日標値 八次 上 上 上 サービス水準についての比較は、様々な形態があり一概に比較は出来ない 下均値、本市の順位など 上 中 口 下 下 大き行っている自治体は僅かである。 市内には、同じ目的を持って運営されている子どもの発達支援センター「ひいらぎ」がある。「ひいらぎ」は障害者自立支援法に基づくデイサービス事業で				果指標			18年度	19年度	20年度	21年度		
日標値 実績値		— >= 3	延べ利用	人数		스						
実績値		八					1,981	1,923	1,917			
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)施設定員が11名で常に定員を満たしているので数値に大きな変化はない。総コストを延べ利用人数で除し利用者一人当たりのコストを算出することで比較が可能となる。 市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など) 定員が少ないことから、職員が直接意見を聞く機会があるが、要望は特にない。 およりのコストを算出することで比較が可能となる。 市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など) に受ける (アンケート結果など) 本内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など) ローカー		<u>_</u>										
(一次)施設定員が11名で常に定員を満たしているので数値に大きな変化はない。総コストを延べ利用人数で除し利用者一人当たりのコストを算出することで比較が可能となる。 市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など) 定員が少ないことから、職員が直接意見を聞く機会があるが、要望は特にない。 都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など) サービス水準についての比較は、様々な形態があり一概に比較は出来ないが、「ひよっこ」と同じ東京都心身障害児通所訓練事業という制度で施設運営を行っている自治体は僅かである。 「本行のには、同じ目的を持って運営されている子どもの発達支援センター「ひいらぎ」がある。「ひいらぎ」は障害者自立支援法に基づくデイサービス事業で												

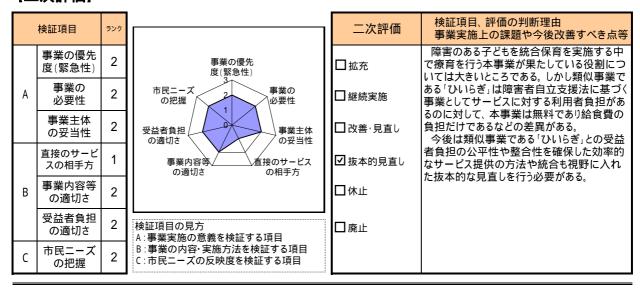
市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など) 定員が少ないことから、職員が直接意見を聞く機会があるが、要望は特にない。 お内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など) ロート カービス水準についての比較は、様々な形態があり一概に比較は出来ないが、「ひよっこ」と同じ東京都心身障害児通所訓練事業という制度で施設運営を行っている自治体は僅かである。 ロート 市内には、同じ目的を持って運営されている子どもの発達支援センター「ひいらぎ」がある。「ひいらぎ」は障害者自立支援法に基づくデイサービス事業で												
ま		7 37 37 11 3	-,, -, -		7,50	-						
ま		市民・関連団体笙の辛見										
事業						定員が生	定員が少ないことから、職員が直接意見を聞く機会があるが、要望は特にない。					
業 環	車											
境	業	+ 2 1					サービス水準に	ついての比較は、ホ	- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	まに比較は出来ない		
境	環					☑中	☑ 中 が、「ひよっこ」と同じ東京都心身障害児通所訓練事業という制度で施設運営					
等	境	(+	でに、中	・・ロ マノ川只 口して	- -)	□ ∓	た行っている白治体は係れである					
代替・類似サービスの有無 においている。「ひいらぎ」は障害者自立支援法に基づくディサービス事業で	等						市内には、同じ	日的を持って運営	されているヱジェの※	達古採わいねー「7)		
		代替・類似サービスの有無										

事業コード 6-2-1	事務事業名 心身障害児通所訓練(ひよっこ)	所管部課 子育て支援部 保育課
施策コード	施策名	施策目標
創2-2	子育て支援の促進	子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境づくりを進めます。

【一次評価】

	検証項目	ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等
	事業の優先 度(緊急性)	2	事業の優先 度(緊急性)	□拡充	母子保健事業における要支援児が増加していることや、障害のある子どもの指導は早期発見・早期療育が 基本であることを踏まえると、障害のある子どもの保育
A	事業の 必要性	3	市民ニーズ 事業の 必要性	□継続実施	や療育を行う本事業の必要性や優先度は高い。実施 主体については、母子保健、医療機関等多くの機関 が指導の面で関わるため、市で行うことが妥当と考え
	事業主体 の妥当性	2	受益者負担 の適切さ 事業主体 の妥当性	☑ 改善·見直し	る。 本事業は、統合保育という手法によりノーマライゼー ション実現のために先駆的役割を果たし、現在市内全
В	直接のサービ スの相手方	2	事業内容等 直接のサービス の適切さ の相手方	□抜本的見直し	保育園で障害のある子を受け入れるようになった。 類似事業として子ども家庭支援センターで実施している「ひいらぎ」があるが、「ひいらぎ」は障害者自立支
	事業内容等 の適切さ	2		□休止	援法に基づく事業であることからサービスに対する負担があるのに対し、本事業は無料である。 今後は、本事業の待機児は10名を超えているなど、
	受益者負担 の適切さ	2	 検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目	□廃止	保育・療育を必要としている子どもが多数いることから、より多くの子どもが効率的に利用できるよう制度を見直すとともに、同様な事業を行っている「ひいらぎ」
С	市民ニーズの把握	2	B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目		と、地域の療育という視点から一体化したサービスが 構築できるよう調整する必要がある。

【二次評価】



【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
□ 拡充 □ 継続実施 □ 改善・見直し ☑ 抜本的見直し	併設保育園の入所児とともに障害児の保育・訓練・生活指導を行う本事業は、障害の軽減や心身の発達の支援を図るうえで重要である。 しかし、類似事業である「ひいらぎ」と利用者負担や事業実施方法が異なっており、地域における一体的な療育の実施という観点から、ニーズを十分に踏まえつつ、事業の統合も視野に入れた抜本的見直しを早期に行う必要があると考える。
□休止 □廃止	